

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 3月27日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	換気空調系タービン建屋排気ファン(B)において、吸込容量制御装置の駆動用リンク機構の一部(全11箇所中の1箇所)が外れていることが認められたため、当該リンク機構を点検・修理。 なお、他10箇所のリンク機構は健全であり、吸込容量制御装置の動作に影響はない。	GⅢ	3月22日
2	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)貝殻除去装置排水配管継手部(2箇所)において、海水の漏えい(滲み程度)が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、当該継手部下部に受け皿を設置済み。	GⅢ	3月26日
3	4号機	換気空調系コントロール建屋非常用電気品室冷凍機(A)において、「圧縮機C1・2冷水出口温度低」の警報発生及び冷凍機の自動停止が認められた。 現場を確認したところ、冷水出口温度低による自動停止設定値3℃に対し、実温度10℃での自動停止であったことから、冷水出口温度検出スイッチを点検・修理。 なお、冷凍機が停止していることから、非常用電気品室エリアの冷却は、3号機側との連絡扉開放により間接的に実施中。	GⅢ	3月22日
4	4号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(B)プリコート出口弁の軸封部において、点検のための隔離操作時に水の漏えい(滲み程度、汚染なし)が認められたため、当該軸封部を点検・修理。 なお、当該弁は軸封部の増し締めにて、漏えいは停止。	GⅢ	3月22日